

■各事業の取組み状況（一覧表）

項目	No.	事業名／実施主体	実施主体	事業目的	これまでの取組み概要	今後の対応
基幹路線	①	和島地域への運行見直し(頻度、時間帯)	長岡市	●「頻度」「時間帯」について運行見直しを行い、利便性の向上を図ること。	●以下の内容で乗合タクシーを運行。 【朝便】 ・小島谷駅前(7:10発)～与板(7:23着)の乗合タクシーを平日に運行。 ・与板発長岡駅前行き路線バスに接続。 【夜便】 ・北新町(19:58発)～小島谷駅前(20:16着)の乗合タクシーを平日に運行。 ・長岡駅前発寺泊行き路線バスに接続。	【継続】 ●頻度についても運行見直しを検討する。
	②	寺泊地域への運行見直し(時間帯)	長岡市	●「時間帯」について運行見直しを行い、利便性の向上を図ること。	●長岡駅前発(20:40発)～与板行き路線バスを、終点の与板バス停から寺泊大町バス停まで延伸して運行。(平日のみ)	【達成】 ●利用者数をモニタリングし、必要に応じて運行内容を改善する。
市街地路線	③	南循環線の運行見直し(経路、時間帯、頻度)	長岡市	●「経路」「時間帯」「頻度」について運行見直しを行い、利便性の向上を図ること。	●利用者アンケート調査を実施し、循環線を希望している人が多いことを把握。 ・利用者の70%が循環線を希望 ●現在、運行見直し内容を検討中。	【検討中】 ●立川総合病院(平成28年秋頃開院予定)に合わせてさらに運行見直し内容を検討する。
	④	中央循環線の運行見直し(時間帯)	長岡市	●「時間帯」について運行見直しを行い、利便性の向上を図ること。	●中央環状線の運行経路を三ツ郷屋町、古正寺町方面へ延伸。 ●運行時間帯の見直しは未実施。	【継続】 ●時間帯についても運行見直しを検討する。
	⑤	シャトルバスの運行(頻度、時間帯、料金等)	長岡市	●土地利用の変化(シビックコア地区の整備)に対応するため、利便性の高いバスを運行すること。	●シビックコア地区と中心市街地を結ぶ「まちなかべんりバス」を運行。 ●シビックコア地区(法務局前)に無料駐車場を整備。	【達成】 ●利用者数をモニタリングし、必要に応じて運行内容を改善する。
土地利用に合った運行経路等の見直し	⑥	千秋が原地区、塚・古正寺地区への運行経路見直し(柏崎線、越路線、小国線等)	越後交(株)	●道路整備状況の変化(大手大橋の4車線化)に応じて運行経路を見直し、定時性を確保すること。	●フェニックス大橋の開通により長生橋の交通量が減少し、路線バスの定時性が確保される可能性があるため、実施を保留中。	【検討中】 ●フェニックス大橋開通後の状況を調査し実施の有無を決める。
	⑦	川崎地区のバス停設置	長岡国道事務所	●川崎地区の新たな土地利用に対応するため、新たにバス停を設置し利便性の向上を図ること。	●国道本線は交通量が多いためバス停設置は難しい状況。 ●側道に設置することも検討したが、本線と側道とに高低差があり実施が困難。	【検討中】 ●需要と実施の困難度の両面から再検討を行う。
空白地域等の公共交通	⑧	住民が主体となったコミュニティバス等の運行	長岡市地域公共交通協議会(運行:住民団体等)	●住民が主体的になって取り組むことで、住民の使いやすい公共交通を効率的かつ効果的に運営すること。	●小国、川口、山古志の3地域において実施中。	【継続】 ●その他の空白地域についても検討を行う。
バス待ち環境の改善	⑨	バス停上屋の整備	長岡市	●バス停上屋を整備し、バス待ち環境を改善すること。	●公共公益施設や集客施設の周辺などの利用客の多いバス停、および乗り継ぎ拠点となるバス停を対象に、7箇所整備。	【継続】 ●残りの箇所について整備を進める。
分かりやすい情報提供	⑩	バスロケーションシステムの導入拡大	長岡国道事務所 越後交通(株)	●バスロケーションシステムを導入拡大し、分かりやすい情報提供を行うこと。	●長岡駅を発着するバスの位置情報がリアルタイムで分かる情報サービス「ながおかバスi」を提供。	【継続】 ●対象路線の拡大を検討する。
	⑪	バス位置表示モニターの設置	施設管理者 長岡市	●バス位置表示モニターを設置し、分かりやすい情報提供を行うこと。	●目的地に応じた鉄道・バス等の公共交通機関やその運行時刻が検索できるタッチパネル式の「長岡市総合交通案内モニター」を設置。(アオーレ長岡1階、長岡駅2階)	【継続】 ●追加設置を検討する。
	⑫	分かりやすい公共交通マップの作成	長岡市 越後交通(株)	●公共交通マップを作成し、分かりやすい情報提供を行うこと。	●試作品を作成したが、予算が確保できなかったため未発行。	【検討中】 ●スポンサー企業を探すなど、実施について再検討する。
乗り継ぎ環境の改善	⑬	分かりやすい案内	長岡市	●分かりやすい案内を行うことで、バスの乗り継ぎ環境を改善すること。	●「長岡市総合交通案内モニター」を設置。(⑩と同様) ●分かりやすい案内誘導、バスの系統化については未実施。	【継続】 ●分かりやすい案内誘導、バスの系統化についても検討する。
マイカーから公共交通への乗り換え利便性向上	⑭	パークアンドライドの推進	長岡市	●パークアンドライドを推進し、マイカーから公共交通への乗り換えの利便性を向上させること。	●鉄道駅付近に1箇所、高速バスストップ付近に3箇所整備。 ●支所の駐車場等を活用したパークアンドバスライドを平成24年度から実施。	【継続】 ●需要の見込めるところについては整備を進める。
車両のバリアフリー化	⑮	低床バスの導入促進	長岡市	●高齢者、障害者等が乗り降りしやすい低床バスを導入し、利便性の向上を図ること。	●平成25年1月現在、乗合バス185台(高速バス27台を除く)のうち、51台に低床バス(ノンステップバス・ワンステップバス)を導入。(導入率27.6%)	【継続】 ●引き続き導入を進める。
意識啓発活動の推進	⑯	モビリティマネジメントの推進	長岡市	●意識啓発活動を行い、公共交通の利用を促すこと。	●ノーマイカーデーの実施に合わせて、「かしこい通勤」に関する情報や、「クルマを使わない通勤」について考える機会を提供。 (実施内容) ①MM参加企業の担当者に説明会を実施 ②各企業担当者を通じ、「かしこい通勤」に関する冊子を配布 ③クルマを使わない通勤について考えるアンケートを実施 ●加盟店で一定額以上の買い物をした人にバス券(お買い物バス券)を進呈。	【継続】 ●意識啓発活動を継続的に進める。